宇都宮MICEネットワーク
第5回定例会

令和7年6月27日（金）
＠宇都宮美術館

一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会
宇都宮市魅力創造部観光MICE推進課

【宇都宮ＭＩＣＥネットワーク第５回定例会及びユニークベニュー体験会　次第】

1. 宇都宮ＭＩＣＥネットワーク「第５回定例会」
　　１５時３０分～１６時１５分

2. ユニークベニュー体験会（希望者のみ）
　　１６時２０分～１８時３０分

① 美術館展覧　　（１６時２０分～１６時５０分）

② レセプション（懇親会）　（１７時００分～１８時３０分）
　開催場所：フルーツダイニングパレット

【宇都宮ＭＩＣＥネットワーク第５回定例会　次第】

01 【報告１】
令和６年度のＭＩＣＥ関連報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

02 【報告２】
観光庁「コンベンションビューロー支援事業」への参画 ・・・・・・・・・・・・・１３

03 【報告３】
これまでの取組の課題のまとめと今年度の主な取組について・・・・・・・１７

04 【協議】
分科会の設置及び取組テーマについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

05 【報告４】
ＭＩＣＥネットワークが関連する今年度の主なスケジュール・・・・・・・２９

【報告１】
令和６年度のＭＩＣＥ関連情報

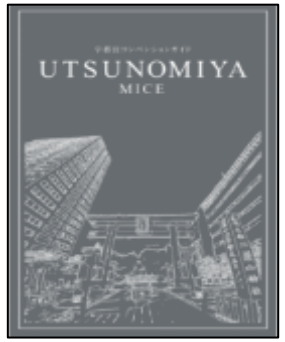
【報告１】 令和６年度のＭＩＣＥ関連情報

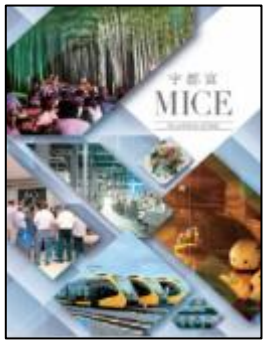
（1） 観光コンベンション協会による誘致･受入に係る主な取組

【 誘致 】

① ＭＩＣＥ誘致セールス（業務委託含む）

- ✓ 首都圏や東北圏、県内の学術機関、各種団体支部等対して、各種ガイドブック等を活用し、２１４件のセールスを実施





２１４ 件／年間

学会主催者への提案資料

② 県外合同商談会･学術大会への出展【拡充】

- ✓ 都内の催事主催者や旅行会社･ＰＣＯに向けた商談会等に出展し、キーパーソンにアプローチ
- ✓ 令和６年度は６会場での出展と合計91件の商談を実施

地方都市合同ワークショップ（全３回）

Japan MICE EXPO 2024

第34回国際MICEエキスポ【IME】

第72回応用物理学会春季学術大会

③ 商談会や展示会でのプレゼンテーション【拡充】

- ✓ ＭＩＣＥ主催者に対して動画やスライドを活用し、開催地ＰＲのプレゼンテーションに参加。
- ✓ 令和６年度は海外の有力バイヤーに対し英語によるピッチ（プレゼンテーション）に初めて参加

【報告１】 令和６年度のＭＩＣＥ関連情報

（1） 観光コンベンション協会による誘致・受入に係る主な取組

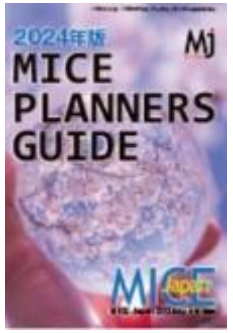
【 誘致 】

④ キーパーソン招聘事業の実施

✓ 開催地決定のキーパソンやＰＣＯ等を招聘し、視察ツアーを開催し、２１団体・３７名の招聘を実施

⑤ ＭＩＣＥ専門誌への広告掲載

✓ ＭＩＣＥ専門誌「ＭＩＣＥプランナーズ・ガイド2025」にライトキューブ宇都宮と連携し、広告を掲載



⑥ ビジネス特化型SNS「Linked In」を通じたキーパーソンとの情報共有【新規】

✓ 海外ではビジネス特化型ＳＮＳである「Ｌｉｎｋｅｄ Ｉｎ」が主流となっていることから、当協会もアカウント登録し、海外バイヤーとの関係性を維持しているほか、海外に向け本市のＭＩＣＥ推進の取組を発信

【報告１】 令和６年度のＭＩＣＥ関連情報

（1） 観光コンベンション協会による誘致・受入に係る主な取組

【 受入 】

① 開催支援補助金の交付及び運営サポート【拡充】

✓ 令和６年度は計３５件の団体に対して補助金を交付し、開催支援及びサポートを実施

	令和５年度	令和６年度
交付数	２０件	３５件
交付金額	18,168千円	48,107千円

② FAMトリップ（視察ツアー）の開催【新規】

✓ 海外有力バイヤーに対し、宇都宮市・日光市共同によるＦＡＭトリップを提案し、5名の招聘を実施

③ 情報共有システムの運用開始【新規】

✓ ＭＩＣＥ施設やホテルからの催事情報を基に、**「宇都宮ＭＩＣＥ開催予定一覧表」**を、令和７年３月から定期配信

【報告１】 令和６年度のＭＩＣＥ関連情報

（1） 観光コンベンション協会による誘致･受入に係る主な取組

【 その他 】

① 第３回ＭＩＣＥセミナーの開催

- ✓ 第１部「MICEの今と、これから」（JCS 伊藤ボン氏）
- ✓ 第２部「MICE主催者が語る！ 「宇都宮開催」の本音」
- ✓ パネルディスカッション（宇大：尾崎教授･星野准教授）
  - ➢ 参加者：５７名

② ＭＩＣＥ専用サイトの管理･運営

- ✓ 誘致セールス活動ではカバーしきれない国内外のＭＩＣＥ主催者に対し情報を提供し、魅力を発信

年度	総アクセス数	対前年増減率
令和６年度	９０，９６２回	１１８．５％増
令和５年度	７６，７３４回	

③ 宇都宮インバウンド誘客戦略の策定【新規】

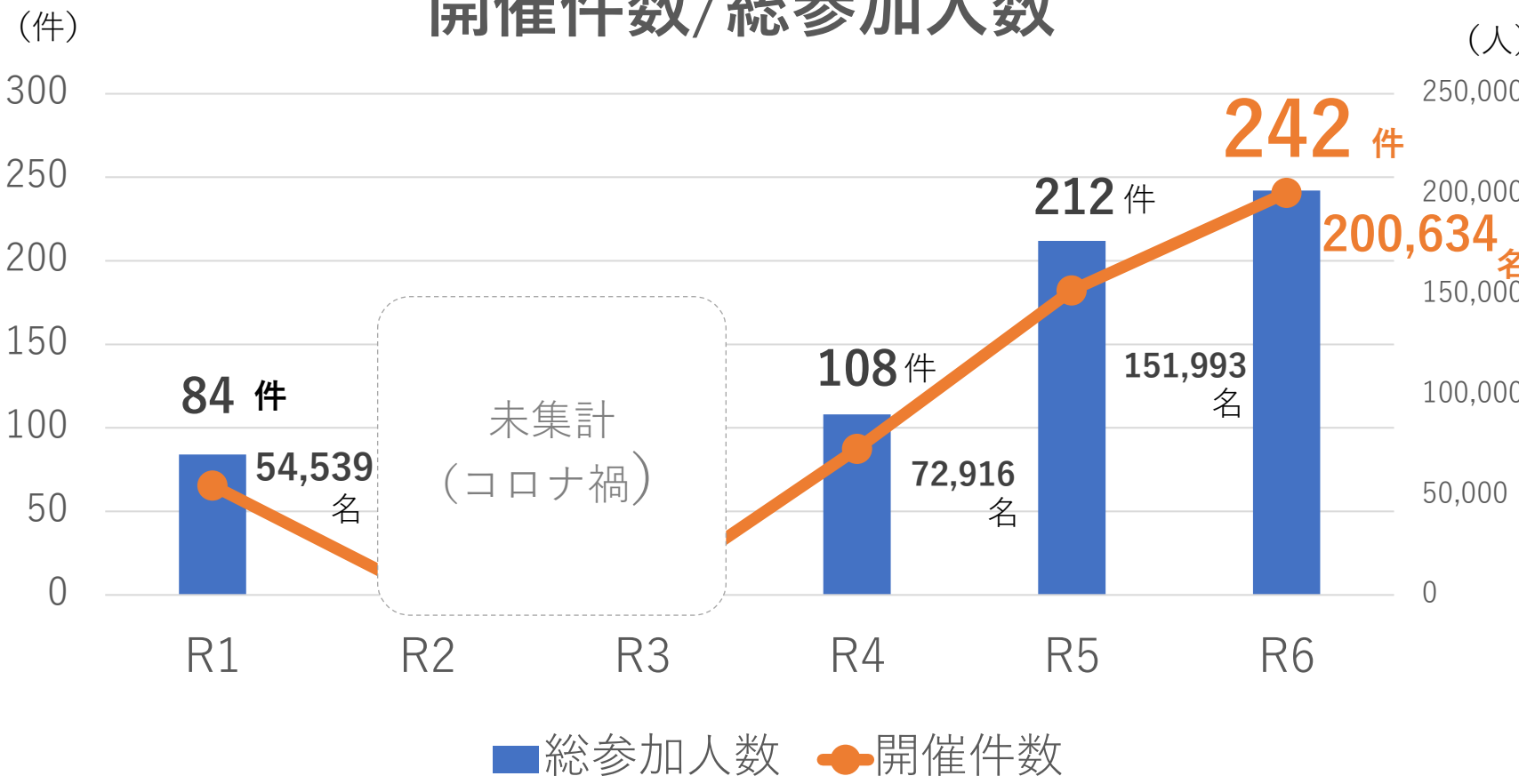
- ✓ インバウンド需要の回復と国の観光戦略に呼応し、地域経済活性化を目的としたインバウンド戦略を策定
- ✓ 来訪日時が確約され、滞在期間が長く、確実な経済効果が見込める**国際MICEを優先的にターゲット**とし、**MICEによる来訪者に向けた受入環境を整備**し、その成果を基に、FIT（個人旅行）や団体旅行の誘致へと段階的に拡大していく方針

【報告１】 令和６年度のＭＩＣＥ関連情報

(2) ＭＩＣＥ開催実績

⇒ 開催件数、参加者、経済効果ともに上昇し、総参加人数は年間延べ**２０万人**、経済効果も**２０億円以上を記録**

開催件数/総参加人数



Ｒ６経済効果

（直接効果）

２１．２億円

Ｒ４経済効果
（直接効果）
１３．３億円

Ｒ５経済効果
（直接効果）
１５．７億円

宇都宮ＭＩＣＥ戦略で設定している成果指標

	令和８年度
ＭＩＣＥ開催件数	２２０件
ＭＩＣＥ消費額	２２億円
参加者の満足度	８０％

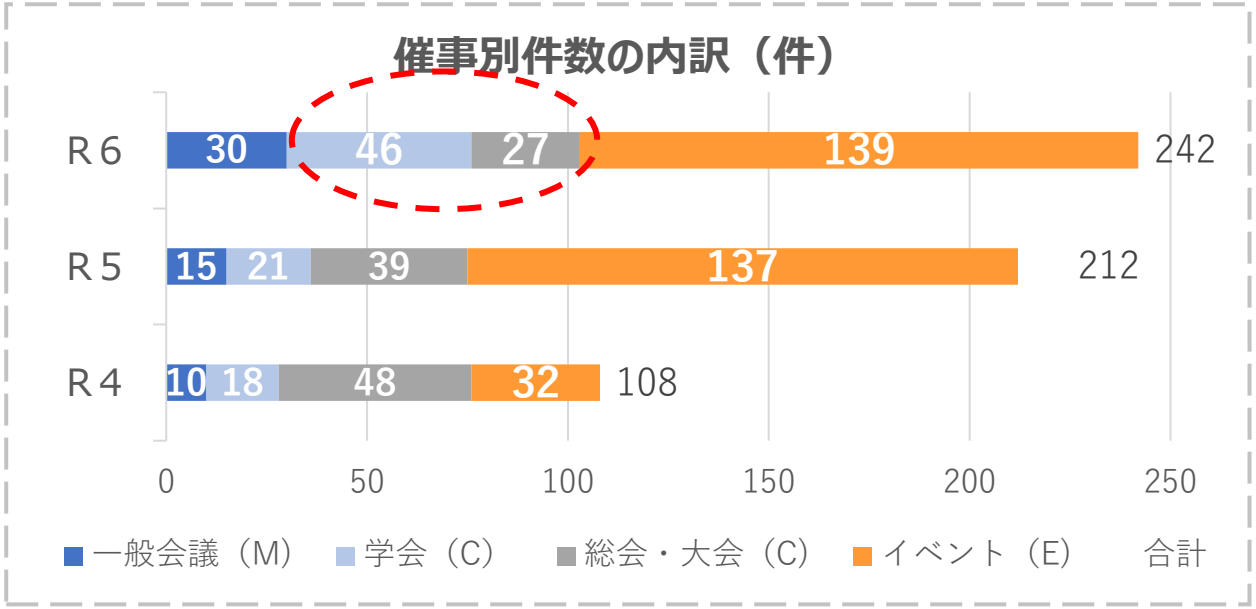
＊市内ＭＩＣＥ施設の利用件数のうち、「学会」「総会・大会」「展示・商談会」「一般会議等（３００名以上の会議・セミナー等）」に分類される催事より算出

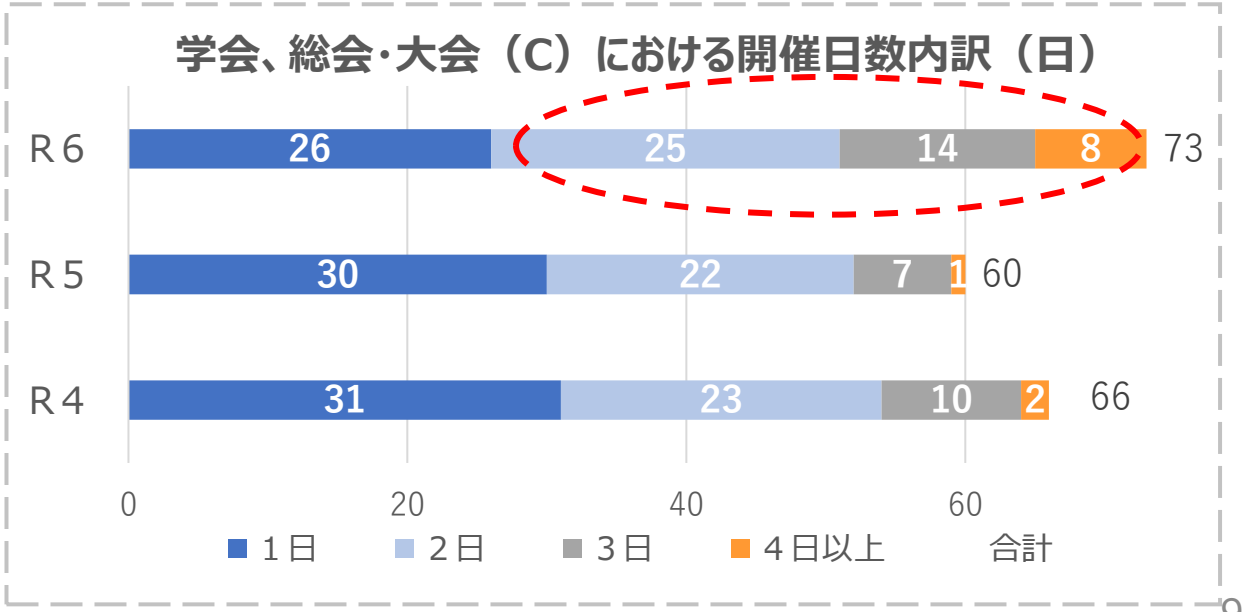
＊但し、市内ＭＩＣＥ施設外で開催される「エンタメ」「啓発イベント」「スポーツイベント」、及び「各種入試、試験、吹奏楽コンクール等」は含まない

【参考】 件数からみた分析

- 全体の件数としては、ＭＩＣＥ誘致活動とＭＩＣＥ主催者への支援による成果もあり、**ＭＩＣＥ件数が順調に増加**している。
- その中でも、特に複数日開催で宿泊を伴う**「学会」「総会・大会」（C）の件数が７３件（前年度比＋１３件）に増加**したことから、ＭＩＣＥ**消費額は２０億円**を超え、前年度比で約５.５億円の増となった。
- 学会及び総会・大会の開催日数の内訳では、２日が34.2%、３日が19.2%、４日が11%であり、**２日以上が６割以上を占めている。**更に、参加者のうち**約８０％は宿泊をしている。**
  - ✓ 引き続き２日以上の開催日数があり、宿泊を伴いやすい**学会や総会・大会及び国際会議などの獲得に向けて積極的に誘致に取組んでいく。**

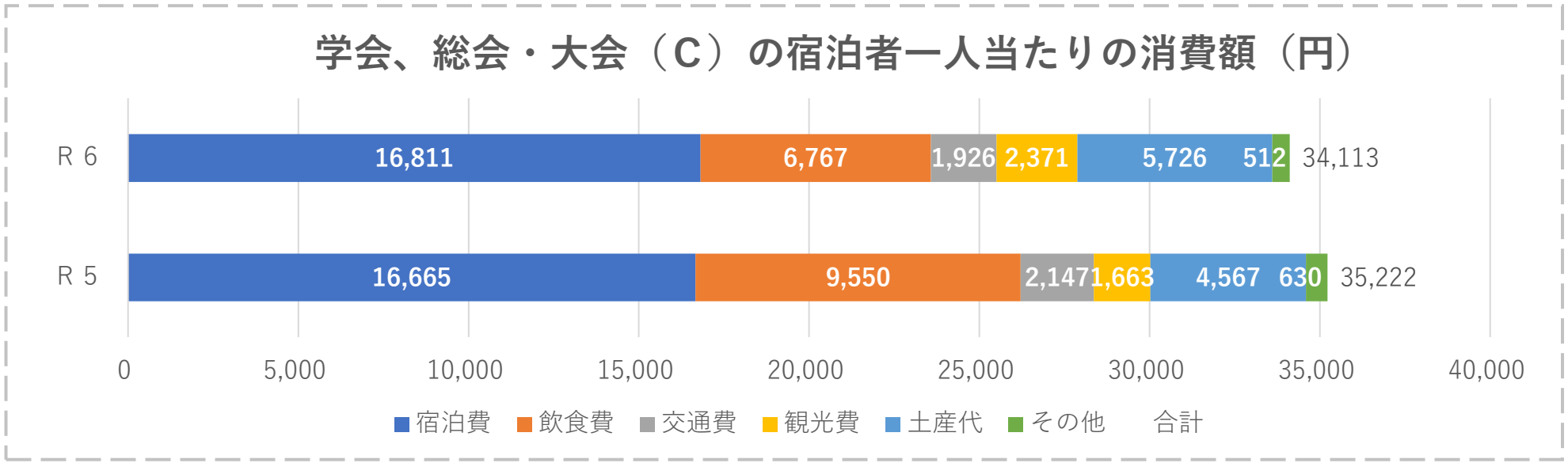
【参考】学会の内訳：医学会系37件　理工学系６件　社会学系３件





【参考】 消費額からみた分析

- **「学会」「総会・大会」（C）の宿泊者１人当たりの消費単価は前年度比-1,107円、日帰り１人当たりの消費単価は+866円**である。
  - ✓ 宿泊費、交通費…横ばい
  - ✓ 飲食費…▲2,783円（前年度比約29%減）
  - ✓ 観光費…＋709円（前年度比約43%増）
  - ✓ 土産代…＋1,159円（前年度比約25%増）
- ただし、どの費目において消費するかは**催事ごとに差がある**（次頁参照）。
  - ✓ 催事ごとのニーズに沿った情報提供やコンテンツ造成など、本市内の**周遊促進や滞在時間の延長を図る取組みを充実していく。**



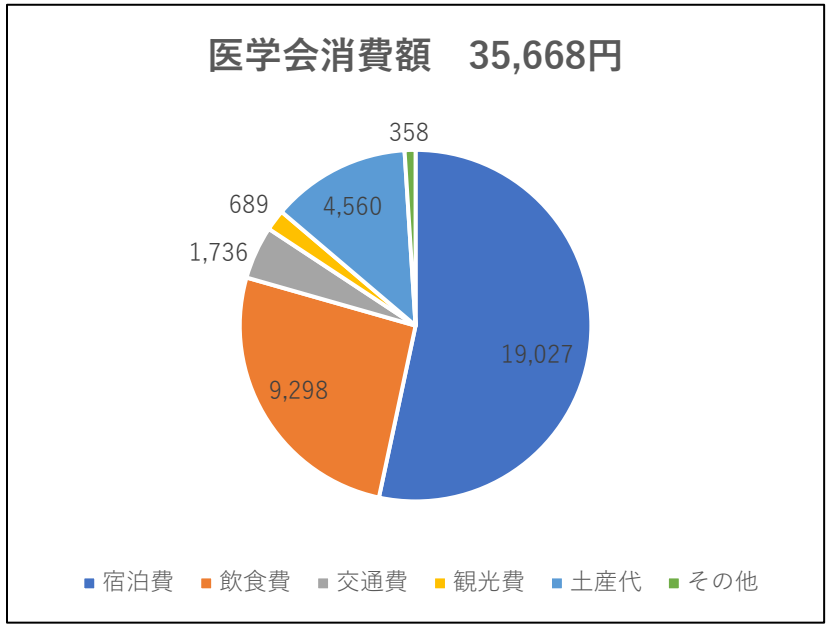
【参考】 学会及び総会･大会の一人当たりの消費額

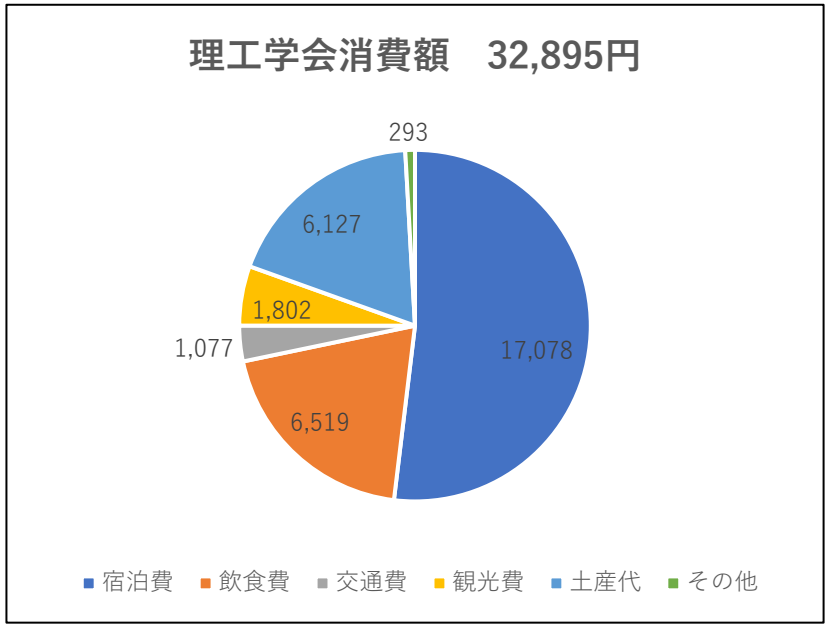
◆ 催事ごとの特徴

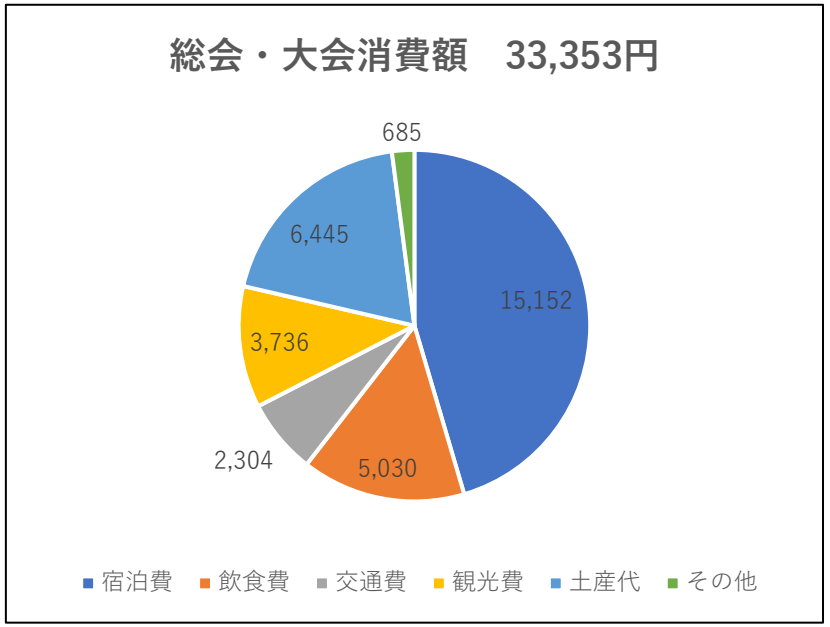
- 医学系学会…宿泊･飲食費
  - ✓ 消費額全体の**約８割**
- 総会･大会…観光、土産、交通費
  - ✓ 消費額全体の**約４割**

● 一人当たりの消費額の大きい主な催事

No.	催事名	種別	消費額
1	全国女性消防団員活性化とちぎ大会	総会・大会	49,995円
2	日本臨床外科学会学術集会	医学会	49,324円
3	日本ストレス学会学術総会	医学会	48,074円
4	ＴＫＣ関東信越会とちぎ秋期大学	総会・大会	46,829円
5	情報処理学会	理工学会	45,405円







【参考】 参加者満足度

- 満足度は**９割を超え**ていて、全体的に来訪いただいた方には満足していただいている。
- ただ、アンケートの中には以下のような意見がある。

ＭＩＣＥ参加者満足度（主催者･参加者アンケートより）

満足度は92.23%を記録

	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答
令和６年度	**50.97%**	**41.26%**	3.68%	0.55%	3.53%
令和５年度	43.86%	36.60%	2.39%	0.18%	16.97%

主催者・参加者アンケートで挙がった主な意見

○ 駅から**会場までが近い**のはよかった　／　○ **駅周辺がきれい**でいい街だと思った　／　○ のぼり旗で**歓迎**していただけて良かった

○ 会場周辺に**宿泊先が多くてよかった**　／　○ 宿泊先の**朝食に地元食材**がでてきて嬉しかった

△ 繁華街や観光地までの**バスの乗り場がわからなかった**　／　△ **市内周遊**の見どころがわかる**資料やパンフレットが欲しかった**

△ **夜１０時以降に空いている飲食店**が少なかった　／　△ **英語や宗教に対応しているお店が少なかった**

【報告２】
観光庁「コンベンションビューロー支援事業」への参画

【報告２】 観光庁「コンベンションビューロー支援事業」への参画

研修を通した主な学び

観光庁「コンベンションビューロー支援事業」について

- **国際ＭＩＣＥ誘致に積極的な都市**を対象に、将来的に日本の都市の国際競争力の引き上げを図ることを目的に、**ＭＩＣＥの誘致・開催における機能強化に向けた支援を行う**もの
- 有識者の派遣によるコンサルティングなど、**支援対象都市のレベルと体制に応じた支援メニュー**を提供
- 支援対象都市に対し、**全５回程度の講習・ワークショップ**を実施

地元大学と連携した誘致活動の展開

✓ 開催地として選ばれ続けるためには、新規案件の獲得を目指すとともに、開催経験のある**教授等とのコネクションを常に持ち続ける**取り組みが重要

ユニークベニューの構築

✓ その地域に**固有の魅力を、主催者や参加者にアピール**していくために、**分かりやすく伝えることができるキーコンテンツ**であり、博物館や美術館、歴史的建造物などでイベントやレセプション等の会場として利用することは、ＭＩＣＥを誘致するうえで重要

【報告２】 観光庁「コンベンションビューロー支援事業」への参画

ＭＩＣＥブランドの構築

- ✓ 開催地のコンセプトや理念を示し、どのような**地域特性やサービス**を提供しているかをわかりやすく端的に伝えるフレーズ
  - ➢ 新商品の「キャッチコピー」のように目を引くものではなく、時代の流れに耐えながら、伝えたい価値、変わらない価値を伝えるもの
- ✓ 国際ＭＩＣＥの誘致を見据え、**海外の主催者の興味・関心を引きつけられるもの**とした。
  - ➢ ＭＩＣＥ業界やブランディングの専門家からの支援を受けつつ作成
  - ➢ ネイティブチェックを通し、国外でも通用する英語表現で作成

令和６年８月

専門家による講義
ＭＩＣＥブランドの必要性　など

令和６年１０月～１２月

ワークショップの実施
- **SWOT分析**による強み・弱みの把握
- **ＭＩＣＥブランドに盛り込む要素の洗い出し**

令和７年１月～２月

タグライン最終案の作成
- 協会・市が整理した要素を踏まえた、**ブランディング専門家によるタグライン案の作成**（英語）
- **海外のＭＩＣＥ関係者からの意見聴取**
- 地元関係者（**宇都宮ＭＩＣＥネットワーク会員**）**からの意見聴取**
- **協会・市による最終案の選定**

令和７年度以降

誘致活動等での活用
- **タグラインロゴ**の作成
- セールス資料・ノベルティへの掲載
- **地元関係者の一体感の醸成**

【報告２】 観光庁「コンベンションビューロー支援事業」への参画

決定したタグライン

Shedding New LIGHT on the Road Ahead

照らす　　新たな光　　未来（への道）

未来に、新たな「光」を。

ブランドコンセプト

- 古くから武将たちの聖地であった宇都宮二荒山神社を中心に栄えてきた宇都宮市は、江戸時代に整備された五街道のうち２つの街道が交差し、江戸から日光東照宮や東北地方へ向かう交通の要衝として発展し続けてきた都市です。
- 宇都宮市は国内最大級の内陸型工業団地を有し、グローバル企業の研究開発（R&D)拠点が集積するとともに、近年では、ゼロカーボントランスポートである次世代型路面電車「ライトレール」を、全国で初めて全線新設で実現させるなど、未来へ向けた持続可能な街づくりに挑戦しています。
- 市民、企業、行政などが連携し、総力を挙げて果敢に挑み続ける宇都宮市でのMICEは、新たな発想（インスピレーション）を創造し、あなたの行く手を明るく照らします。

【報告３】
これまでの取組の課題のまとめと今年度の主な取組について

【報告３】 これまでの取組の課題のまとめと今年度の主な取組について

これまでの取組の課題のまとめ	今年度の主な取組
宇都宮市の強みや特徴を活かしたＭＩＣＥの誘致 • 本市のＭＩＣＥ都市としてさらなるＰＲが重要 • 経済効果の大きい複数日開催の学会・大会や、国際会議の誘致が重要	• 「Linked In」のさらなる活用や商談会への積極的な出展、**ブランドロゴを活用したＰＲ活動**に取り組む。 • 地元大学を中心としたステークホルダーとの「関係性構築」によるセールス活動を強化する。
開催支援・プログラム内容の充実 • 国際ＭＩＣＥ誘致に向け、受入環境整備の構築が必要	• 多様な食や言語、宗教等への対応に向け、受入可能店舗等の調査や**受入環境整備の構築**に取り組む。
宇都宮ならではの強みや資源の有効活用 • 本市へのＭＩＣＥ推進において、独自性の高いコンテンツが必要	• コンベンションビューロー支援事業を通して評価いただいた「宇都宮二荒山神社」「宇都宮美術館」の**ユニークベニューの構築**を行う。
オール宇都宮による推進体制の構築 • 周辺自治体及び関係団体等が一体となったＭＩＣＥ推進（おもてなしの充実）体制の構築が必要	• **ＭＩＣＥ関係団体へ向けた「ＭＩＣＥ開催情報一覧表」の周知強化・活用促進**を図る。 • 日光市を中心とした県内広域連携の実施に取り組む。

※　太字部分はＭＩＣＥネットワークが関わる主な役割

【報告３】 ＭＩＣＥネットワークが関わる今年度の主な取組について

宇都宮市の強みや特徴を活かしたＭＩＣＥの誘致

■ ブランドロゴを活用したＰＲ活動

～令和６年度

- ✓ コンベンションビューロー支援事業を通じて**「宇都宮ＭＩＣＥタグライン」を作成**
  - ➢ **委員の皆様にも投票を依頼（第４回定例会）**

令和７年度

- ✓ **宇都宮ＭＩＣＥブランドロゴ・ノベルティの作成・活用**
  - ➢ セールス資料への掲載・関連グッズの作成と関係者への配布
  - ➢ 委員の皆様をはじめとする地元ＭＩＣＥ関係者の一体感の醸成を図る。

広島市　姫路市　松山市

ピンバッジ（松山市）

名刺（北九州市）

ボールペン（岡山市）

ストラップ（観光庁）

開催支援・プログラム内容の充実

■ 受入環境整備の構築（分科会を活用）

～令和６年度

- ✓ 今後、大規模な学会の誘致や国際会議の誘致に取り組むうえで、**個室対応できる飲食店の情報や多様な食・宗教に対応できる受入環境の整備が重要**

令和７年度

- ✓ **分科会を通して、本市における受入環境整備**
  - ➢ **分科会の取組テーマについて21頁で協議予定**

【報告３】 ＭＩＣＥネットワークが関わる今年度の主な取組について

宇都宮ならではの強みや資源の有効活用

■ ユニークベニューの新規構築

～令和６年度

- ✓ コンベンションビューロー支援事業の講義を通じて、新たな**ユニークベニュー候補として「宇都宮二荒山神社」「宇都宮美術館」を視察**
  - ➢ **観光庁からも高評価**

令和７年度

- ✓ **宇都宮二荒山神社**
  - ➢ **12月開催の国際会議にて活用予定**
  - ➢ **分科会の取組テーマについて21頁で協議予定**
- ✓ **宇都宮美術館**
  - ➢ **本定例会を実証として活用**
  - ➢ **今後メニュー化に向けて随時調整等を実施**

参考事例（仙台 緑彩館 ・ 熊本城）

オール宇都宮による推進体制の構築

■ 地域一体となったＭＩＣＥ推進（おもてなしの充実）体制の構築

～令和６年度

- ✓ 令和７年３月から**「ＭＩＣＥ開催情報一覧表」を配信開始**
- ✓ ＭＩＣＥ関係者が一体となって**本市ＭＩＣＥネットワークのさらなる充実に向け、具体的に取組む**
  - ➢ **分科会の取組を検討**

令和７年度

- ✓ **「ＭＩＣＥ開催情報一覧表」の周知強化･活用促進**
- ✓ **分科会を通した本市のさらなるおもてなしの充実**
  - ➢ **分科会の取組テーマについて21頁で協議予定**

【協議】
分科会の設置及びテーマ（案）について

【協議】分科会の設置及びテーマ（案）について

✓「定例会」については、本市におけるＭＩＣＥ推進に係る課題や施策についてなど、総合的な事項について**協議・共有事項を行う場として引き続き実施する。**
✓ 本年度から**新たに「宇都宮ＭＩＣＥネットワーク」内に「分科会」を設置する。**「分科会」については、定例会で議論した**課題や施策を具体的に推進するプロジェクトチームの役割を担う。**

ＭＩＣＥネットワーク定例会（３４団体）

○目的・役割
宇都宮市内の産業団体や大学等の**ＭＩＣＥに関わる様々な関係団体等と連携を図りながら、**宇都宮市により多くのＭＩＣＥを誘致し、もって**交流人口の拡大による地域経済の活性化に資することを目的**とする。

○構成メンバー
産業団体、大学等のＭＩＣＥに関わる関係団体

○具体的な取組
・ＭＩＣＥ推進の課題や施策の協議・共有　など

ＭＩＣＥネットワーク分科会

○目的・役割
「ＭＩＣＥネットワーク」で議論された**課題等を踏まえながら、事業を企画・実施し、地域への経済波及効果の拡大を図ることを目的**とする。

○構成メンバー
・リーダー（ネットワーク委員）
・メンバー
（ネットワーク委員または**委員が推薦したネットワーク構成団体内の者）**
※サポートメンバー（ネットワーク構成団体外の者）

○具体的な取組
・国際会議の誘致・ユニークベニューの構築　・受入体制の整備
・おもてなしの向上に向けた取組　など

【協議】分科会の設置及びテーマ（案）について

✓ 分科会設置にあたり、**宇都宮ＭＩＣＥネットワーク会則を一部改正する。**（別紙参照）
✓ **新たに「（案）宇都宮ＭＩＣＥネットワーク分科会会則」を制定する。**（別紙参照）

◆ **宇都宮ＭＩＣＥネットワーク会則の改正について**
　➢ 会則第３条（組織）に**「分科会設置」を追記**

◆ **「（案）宇都宮ＭＩＣＥネットワーク分科会会則」**の制定について（主な記載事項）
　✓ **分科会の名称（取組テーマ）**（第２条）
　✓ **リーダーの選出**（第４条）
　　➢ 宇都宮ＭＩＣＥネットワーク**委員の中から会長が指名**
　✓ **メンバーの選出**（第４条）
　　➢ **原則としてネットワーク委員のうちからリーダーが指名**
　　➢ 会長の承認を得た上でネットワーク**委員以外の者を指名**することができる。
　✓ **メンバー等の任期**（第４条）
　　➢ **原則として１年以内とする。**
　　➢ **ただし、設置期間内にその会の目的が達成されない場合はこの限りではない。**
　◎ **分科会の名称（取組テーマ）の見直しの都度、本会則の改正を行う。**

【協議】分科会の設置及びテーマ（案）について

■（振り返り）第４回ＭＩＣＥネットワーク定例会：意見交換における主な意見

○ **ナイトタイム**、**食**を中心とした**「おもてなし」**の充実

○ 土産や伝統文化の掘り起しによる魅力向上

○ **国際会議**を見据えた、サスティナビリティ、体験コンテンツの強化

○ 外国人来訪者のニーズの把握、調査

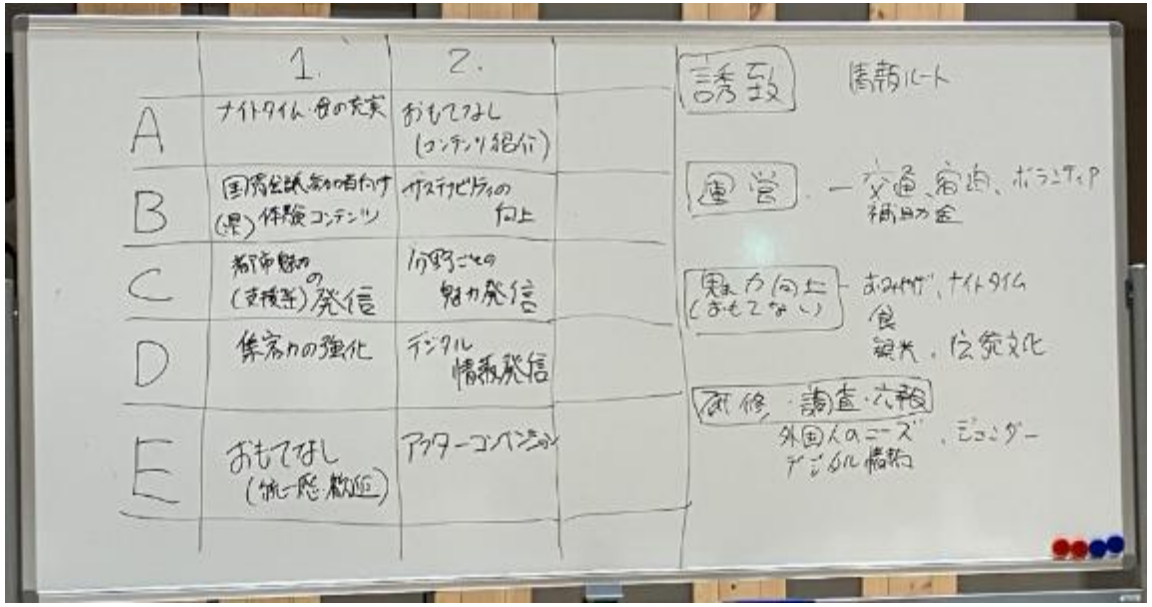
○ 都市の魅力、支援などの**情報発信**の強化

（アクセス、支援補助金、協会支援制度　など）

○ 滞在時間延長のためのアフターコンベンション

○ 地域の事業者の**稼げる実感**に繋がる取組

▼当日の意見のまとめ（第４回定例会）



【第４回定例会のまとめ】

✓ **分科会の方針（数・テーマ案など）については、会長及び事務局預かりとして第５回定例会で協議・決定する**

【協議】分科会の設置及びテーマ（案）について

✓ 第４回定例会での意見交換をはじめとする委員の皆様からのご意見や、ＭＩＣＥ主催者・参加者からのご意見を踏まえ、**取り組むべき主な課題を以下の２つに整理**し、分科会を設置する。

【A】取り組むべき課題

- 経済波及効果の拡大に向けて、国際会議の誘致を強化する必要がある
- 本年度は既に3件の国際会議開催が予定されており、外国人来訪者が安心して市内を楽しめる環境整備が急務

➢ **本年度採択された観光庁事業「MICE開催地としての魅力向上事業」を活用し、ノウハウを蓄積する必要がある**

・ 経済波及効果の大きい**国際会議の誘致・受入**
・ **インバウンド客の受入環境**の整備

（仮称）国際会議受入環境向上分科会
担当：事務局（宇都宮市・観光コンベンション協会）

【B】取り組むべき課題

- ＭＩＣＥ参加者が周遊しやすいコンテンツの作成や情報発信などの仕掛けが必要
- ＭＩＣＥをきっかけとした事業者の「稼げる実感」につながる取組が必要

➢ **ＭＩＣＥをきっかけに稼ぐ新たなビジネスモデルの構築を図る必要がある**

・ ＭＩＣＥ開催に合わせた**「おもてなし」**の強化
・ ＭＩＣＥ参加者の**消費拡大**、さらなる**満足度の向上**

（仮称）ＭＩＣＥ参加者おもてなし分科会
担当：ネットワーク委員

【参考】「（仮称）国際会議受入環境向上分科会」の取組内容（案）」（事務局担当）

会期前（プレコンベンション）

新ユニークベニューの整備

コンベンションビューロー支援事業でのユニークベニュー視察結果を踏まえた二荒山神社の設備改修

地域飲食店等の国際MICE受入環境整備

「ＭＩＣＥ都市宇都宮」の統一コンセプト・デザインの策定

- 地元の飲食店等をＭＩＣＥ協力店として発掘（10～20店舗）
- 外国人にも分かりやすいメニュー作成など、外国人受入環境の整備

観光ナビ内にＭＩＣＥ協力店を案内するページを作成し、ＭＩＣＥサイトと連携

宇都宮観光ナビ

マーケティングリサーチの実践

来訪者出身国のGoogleマップ等に投稿されているクチコミ情報を分析（生成AIを活用）するとともに、大学の授業等で学生含め施策を検討

会期中（いずれかの日程）

新ベニューにおけるアトラクション実施

二荒山神社において、日光等と連携した日本らしさを感じられる特別感のあるアトラクションの実施（神楽殿でのショー、縁日・初詣風の飲食提供　など）

新たなMICE人材の育成・活用

大学生と協力した外国語による案内・おもてなしの充実

アフターコンベンション（ナイトタイム）

新たなナイトタイムコンテンツ造成

ＭＩＣＥ協力店（数店舗）をめぐるガイド付きバーホッピングイベントの実施

うつのみやＭＩＣＥ協力店（取組例）
- 地産地消メニュー・地元土産の提供
- ハラル・ヴィーガン対応メニュー提供
- 個室利用や営業時間の融通
- 英語表記やハラル等対応の有無の表記
- 店頭への専用サイン掲示　　など

デジタルサイネージの活用

- 常設デジタルサイネージによるMICE協力店の情報発信・誘導
- サイネージ利用者の閲覧データの取得（AIカメラによる属性データなど）

会期後（ポストコンベンション）

実証で開発したコンテンツを盛り込んだプロモーションツールの作成

実態データを踏まえた施策の検討

- 事前にデータ分析によりＭＩＣＥ参加者の趣向を予測
- 予測結果と実際のサイネージ利用状況、参加者のアンケート調査などの実態データを踏まえた分析
- 大学の授業で検討した施策は宇都宮ＭＩＣＥネットワークや観光推進委員会へ提案し、次年度以降の取組に活用

【参考】「（仮称）国際会議受入環境向上分科会」の取組内容（案）」（事務局担当）

- 観光庁事業への共同提案を行った**４者で構成**する（市観光ＭＩＣＥ推進課・市観光コンベンション協会・下野新聞社・宇都宮大学）。
  - ➢ 事業実施に当たっては、**観光推進委員会とも連携**する（インバウンド関連）。

宇都宮ＭＩＣＥネットワーク　国際会議受入環境向上分科会

事務局

宇都宮市　観光ＭＩＣＥ推進課 MICE推進グループ
- 事業統括・全体調整
- 事業企画・実施
- データ活用に向けた調整

宇都宮観光コンベンション協会 MICE振興課
- 学会の開催支援
- イベント開催に向けた手配
- MICE協力店開拓等への協力

(株)下野新聞社
- 「MICE都市宇都宮」コンセプト・デザイン策定支援
- MICE協力店の開拓、周知用コンテンツの作成
- デジタルサイネージ活用

宇都宮大学 データサイエンス経営学部（大嶋教授）

生成AI等を活用した協会・市のマーケティングへの支援

宇都宮観光推進委員会

- 宇都宮市　観光ＭＩＣＥ推進課 観光戦略グループ
- 宇都宮観光コンベンション協会 観光振興課
- 街なかでのバーホッピングイベント等の企画・開催
- （仮）宇都宮大学　国際学部（栗原准教授）
- 研究室所属学生によるＭＩＣＥ参加者（外国人）へのおもてなしへの協力

ICST2025　実行委員会 宇都宮大学　東准教授

- 学会の主催
- 実証のフィールド提供や協力
- 参加者への周知

【参考】「（仮称）ＭＩＣＥ参加者おもてなし分科会」の取組内容（案）」（委員担当）

✓ 以下の取組を、**分科会リーダー及び分科会メンバーが主導しながら進めていく。**

取組内容（案）

- **ナイトタイム、食**を中心とした**「おもてなし」**の充実
- 情報の共有、整理をした後の**“情報発信”**の充足　など

★宇都宮に滞在したくなる「お役立ち情報」★

情報・手段等は、分科会内で決定

【お役立ち情報案】
- ・おすすめ飲食店
- ・タクシー配車
- ・駅前バスの乗り方
- ・コインロッカー
- ・コインランドリー　・・・等

【発信手段案】
- ・紙マップ作成
- ・デジタルマップ作成
- ・協会ホームページ掲載
- ・車内にQRステッカー掲載　等

★宇都宮滞在延長マップ★

コインロッカー情報

おもてなしタクシー手配

まちなかバスの乗り方

・・・など、滞在時間延長に役立つ情報を掲載

成果物（案）

分科会リーダー及びメンバー

会員	想定する役割
★ **株式会社日本旅行**	**分科会リーダー**
●（交通）関東自動車	ＭＩＣＥネットワークの力を結集し、宇都宮滞在中に役立つ情報や環境を整理し、**宇都宮ならではの「価値」を創出・提供すること**により、ＭＩＣＥ参加者の満足度向上と滞在時間の延長を図るとともに、経済波及効果の拡大につながる取組を協議していただく。
●（交通・飲食）宇都宮タクシー協議会	
●（宿泊・滞在）宇都宮ホテル旅館協同組合	
●（物販・観光）宇都宮市観光土産品協会	
●（滞在全般）宇都宮商工会議所	
●（情報全般）ヤマゼンコミュニケイションズ（※サポートメンバー枠）	

※観光コンベンション協会・宇都宮市は事務局として参加

【報告４】
ＭＩＣＥネットワークが関連する今年度の主なスケジュール

【報告４】ＭＩＣＥネットワークが関連する今年度の主なスケジュール

年月日	内　容	備　考
令和７年 ６月下旬～	• 宇都宮ＭＩＣＥネットワーク第５回定例会での協議にて分科会設置協議・決定	• 随時分科会ツール作成における打合せを実施
７月上旬 ～10月中旬	• ＭＩＣＥブランドロゴデザインの作成 • ノベルティの作成 • ＭＩＣＥ開催情報一覧更新（９月）	
10月～11月 (MICE繁忙期)	• （仮称）ＭＩＣＥ参加者おもてなし分科会における取組の実証の開始※	• 30th Microoptics Conference（MOC2025）（観光庁事業と連携）（10月12日～15日） • 光メモリ・画像・計測国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）（10月19日～22日） • 連携四大学によるオプティクスとフォトニクスに関する国際会議（観光庁事業と連携）（11月30日～12月2日） • ビジネス来訪者向けイベントの実施（観光推進委員会）
12月上旬	• （仮称）国際会議受入環境向上分科会における取組実施 • ＭＩＣＥ開催情報一覧更新（12月）	• ＩＣＳＴ2025　開催（12月１日～３日） • 事務局担当（観光庁事業）
令和８年１月頃	• 宇都宮ＭＩＣＥネットワーク第６回定例会	• 分科会の実施結果中間報告
３月末	• （仮称）国際会議受入環境向上分科会及び（仮称）ＭＩＣＥ参加者おもてなし分科会における成果物の活用（納品） • ＭＩＣＥ開催情報一覧更新（３月）	• 報告書の作成、事業の清算

※（仮称）ＭＩＣＥ参加者おもてなし分科会　取組の進捗によっては、学会・大会の多い10月・11月に実証として使用する。

【参考】観光庁「将来の国際会議主催者育成のための地域・大学連携等促進事業」について

事業目的

✓ **国際会議誘致・開催の持続可能な発展**のためには、**将来の国際会議主催者を育成**していくことが重要

✓ これに向けては、**地域のコンベンションビューロー/自治体、大学において**、各主催者の**開催機運の醸成**と機運を途絶えさせない**適切なサポート体制**の構築、本体制を活かした**新規国際会議の創出・拡大等**を促進していくことが必要

事業内容

：コンベンションビューロー/自治体、大学が主体となり、将来の主催者育成のための取組を実施

【取組例】

（1）学内研究者への情報発信・開催機運醸成イベント等の実施

✓ 国際会議誘致開催説明会の開催

✓ ユニークベニューを活用した開催機運醸成イベント

（2）新規国際会議の創出・拡大、海外とのネットワーク形成、大規模国際会議に付随するサテライト会議開催を通じた人材育成

✓ 大学が主催する新規国際会議の創出・拡大

✓ 若手研究者が主体となった海外とのネットワーク形成、サテライト会議等の開催

期待される効果

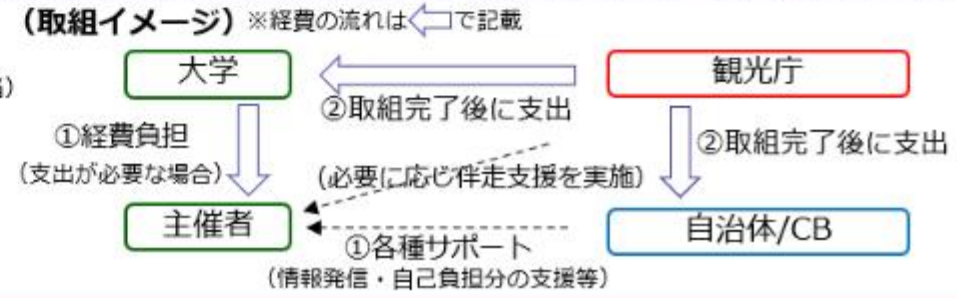
コンベンションビューロー/自治体：主催者候補とのネットワークの強化（※イベント実施後の継続的な取組が必要）

大学：国際会議開催数の増加（→プレゼンス向上・国際研究ネットワーク強化）　主催者：開催サポート・ノウハウの獲得

事業スキーム

- **申請主体**：コンベンションビューロー/自治体及び大学機関（国際会議担当）の　①共同申請又は②単独申請（①を基本とする）
  - ※必要に応じ学内の関係組織や大学教員等とも連携した上で申請
  - ※複数地域・複数大学の連携による申請も可能
- **国による経費支出上限**：700万円（1申請あたり）
  - ※必要に応じ専門家による主催者への伴走支援を実施

（取組イメージ）※経費の流れは⇦で記載



【参考】観光庁「将来の国際会議主催者育成のための地域・大学連携等促進事業」について

- **宇都宮大学　杉原教授、大谷教授が観光庁事業に提案申請**
- 宇都宮観光コンベンション**協会及び宇都宮市がエクスカーション等のサポートを行う**こととし、共同申請者として提案書を作成した結果、**２件とも採択**された。

【杉原教授】30th Microoptics Conference（MOC2025） サテライト会議開催

微小光学国際会議(MOC2025)を10月に宇都宮にて開催する。その際、将来の研究者となる高校生に、ポスター発表や光学分野の世界的研究者と交流を深める機会を提供することが継続的な発展には重要と認識し、宇都宮大学若手教員が中心となって高校生セッションを含むサテライト会議を企画運営する。

【構成組織】
宇都宮大学社会共創促進センター、宇都宮市・宇都宮観光コンベンション協会
【本事業におけるそれぞれの組織の役割と取組内容】
- 宇都宮大学社会共創促進センター：宇都宮観光コンベンション協会、観光庁との窓口、サテライト会議サポート、予算管理
- 宇都宮大学教員：サテライト会議（高校生ポスターセッション、チュートリアル講演）の企画運営
- 宇都宮市・宇都宮観光コンベンション協会：高校生懇親会、エクスカーションを担当

【大谷教授】連携四大学によるオプティクスとフォトニクスに関する国際会議

宇都宮大学ｵﾌﾟﾃｨｸｽ教育研究ｾﾝﾀｰ、静岡大学電子科学研究所、徳島大学ﾎﾟｽﾄLEDﾌｫﾄﾆｸｽ研究所、光産業創成大学院大学の光連携4大学が協力してｵﾌﾟﾃｨｸｽとﾌｫﾄﾆｸｽに関する国際会議を実施することで、若手研究者の国際化を涵養する。

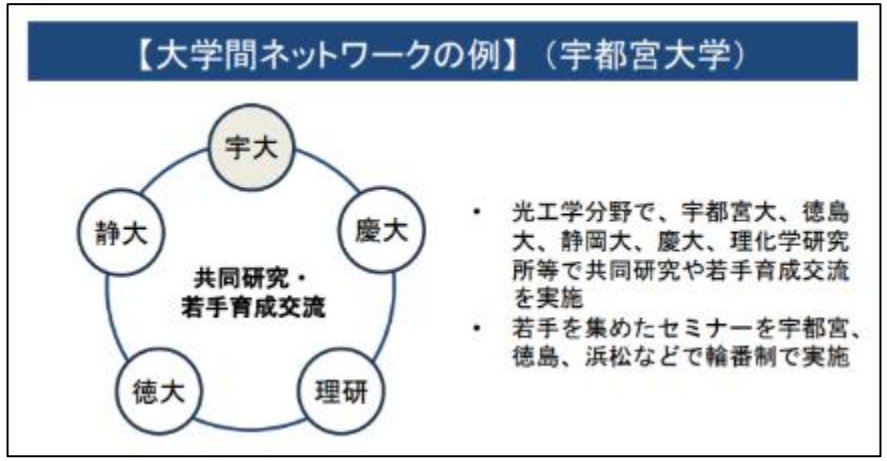
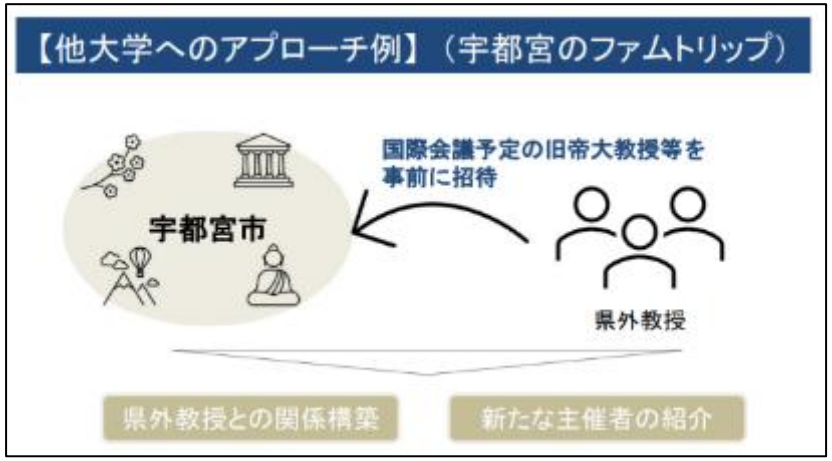
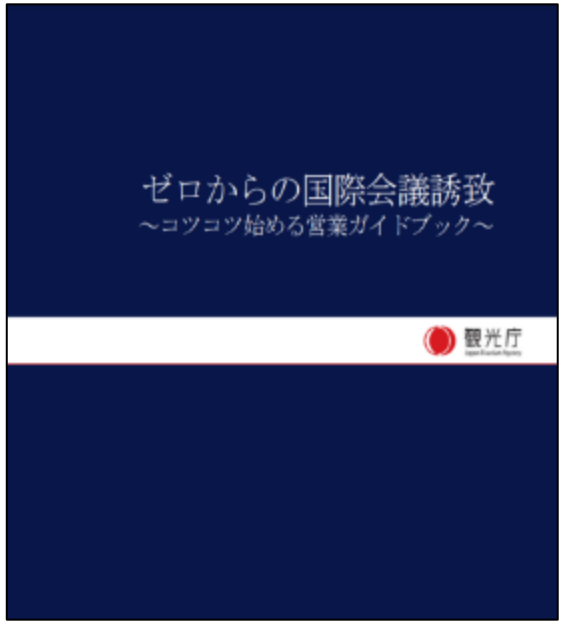
【構成組織】
宇都宮大学オプティクス教育研究センター、宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮市
【本事業におけるそれぞれの組織の役割と取組内容】
- 宇都宮大学オプティクス教育研究センター： 資金管理、広報および運営業務
- 宇都宮観光コンベンション協会、宇都宮市：国際会議会場（ライトキューブ）支援、懇親会支援、エクスカーションの支援

【参考】「ゼロからの国際会議誘致　コツコツ始める営業ガイドブック」について

- 初めて国際会議の誘致に取り組むコンベンションビューロー向けに観光庁が作成したガイドブックであり、石川参事官が宇都宮市で実施した意見交換内容等踏まえて作成されており、宇都宮市に関わる内容が複数掲載されている。

◆ 営業プロセス説明資料で使用

（大学名）+（教授名）+連絡先　で検索

✓ ガイドブック内で大学教授の検索方法や所属学会の調査方法を説明する資料において、事例として紹介

◆ 具体的な事例の紹介